

WIP バチエスラフ・ツビニン

🔄 Updated at 2022-08-01 03:47 JST

序文

読者の皆様、こんにちは。この本を開いていただきありがとうございます。この事実自体はすでに、作者の仕事が無駄ではなく、彼によるテキストの作成が少なくとも好奇心をかき立てたことを意味します。ちなみに、好奇心のストーリーテリングテーマは主要なテーマの1つになり、特別なセクションがそれに専念します。結局のところ、新しいことを知るためにお互いに会いたいという願望は、私たちの脳の最も重要な生来のプログラム、投資、評価です-飢餓と渇き、恐れと攻撃性、生殖したいという願望、子孫の世話、自由、そして「生物学的ニーズ」のさらに12のグループ。これらのグループを順番に検討し、検討します。なぜ必要ですか？私の深い確信は、神経系のこの領域が精神活動の基礎の基礎であるということです。ニーズは絶えず相互に置き換わり、特定の目標を達成するために、最初に子供、次に大人が何かをし、腕、脚、「たたみ込み」を動かすエネルギー源を作り出しています。並行して、行動の成功または失敗により、感情が生じます。そして、これらの感情を背景に、私たちの脳は、ニーズを満たすための効果的な方法を思い出しながら学習します。生物学的ニーズ歴史、科学、芸術の原動力である私たち一人一人の瞬間的および長期的な計画の基礎。人間経済の基盤：人々は、パートナーを喜ばせるために、食料、安全保障、目新しさ、他の人よりも良くなりしたいという願望を売買します。20世紀初頭1にトイワン・ペトロヴィッチ・パブロフが書いた無条件の反射神経のグループ、そして心理学者が「無意識の」領域と呼ぶものの-これはすべて、生物学的ニーズの領域と大部分が重複しています。各人は少なくとも彼らの基本的なリストを知る必要があります：これは彼らがより意識的に存在することを可能にし、古代の自然の生理学的な「畏」をより明確に見ることができますHomo sapienでは育種。そして、どのニーズがあなたにとって特に重要であるかを感じることも非常に重要です。結局のところ、「そのドライブ」を作成するのは彼らであり、選択した職業の高みに到達し、個人的な才能を植え付け、明らかにすることができます。

トイワン・ペトロヴィッチ・パブロフ「1849-1936」- ロシアとソビエトの科学者生理学者、高等神経活動の科学、物理学の創設者。「消化の生理学に関する彼の研究に対して」1904年のノーベル生理学・医学賞を受賞

これに関連して、読者が彼の手を持っているテキストは、まず第一に、脳の一般原則と行動の組織化の提示に捧げられています。特定の生活状況で何らかの形で自分自身を運ぶことを推奨の観点から考慮すべきではありません。特定の障害や病気の説明や診断を探すべきではありません。さらに、それは支配的なことを意味するものではありません。特定の人の特定の行動における生物学の重要性。そして、何らかの理由で過度に活動している生物学的ニーズの中心によって生成された行動プログラムにノーと言う思考と意識の能力が与えられました。ニーズ、モチベーション、感情の神経科学についての私の最初の真剣な知り合いは、MSUの生物学部の高等神経活動学部からの学生がいた80年代初頭に起こりました+パウエル・セものふ学者USSRが講義した卓越した科学者、思想家、彼自身の科学学校の創設者である彼は、今日でも関連性があり、この本の大部分が基づいているニーズの分類を提案しました。そしてさらに10年後、私は生物学部の人間と動物生理学の部門の従業員になりましたMSU当時、学者の†イゴール・アシュマリンが担当していましたもやもや病を勉強するように私を惹きつけたのは彼でした私は彼に、対応する脳の中心に影響を与えることができる薬理学的レバーの探索に興味を持っています。私はMSU教師としての科学研究と並行しています私は脳活動の原理に関する多くの講義を読みました。2015年秋のある時点で12回の講義からなる神経生物学の過程について、あなたの注意を引く本の基礎となるのはこのコースで12冊の本の章になりましたそれらの最初のは入門的です、あなたがすでに脳の構造と機能の原理について何かを知っているならば、あなたはそれを対角線までスクロールすることができますそれらの最初のは入門的です、あなたがすでに脳の構造と機能の原理について何かを知っているならば、あなたはそれを対角線までスクロールすることができます。次に、特定のニーズに関する10の章があります。それはすべて、飢餓センターの比較的単純だが非常に関連性のある歴史から始まります。好奇心と恐怖、性的および親の行動。特別な章は、ニューラルネットワークのミラー原理の模倣に専念しています。この本の後半では、攻撃性、率先する衝動、自由に動くこと、その他すべてを扱っています。植物球はある程度詳細に分析されます内臓を制御する神経系の能力そのもの「多くの場合、意識を迂回しますが、私たちの健康のために。最後の頭は一般的です。特に、特定の分子のニーズと感情の生成への参加に関するテキスト全体に散在する情報を要約して体系化します類似成分と異性化成分の埋め込み可能なスタックで塩基を切断するードーパミン、オピオイドペプチドノルエピネフリン。



バチェスラフ・ツビニン

†パウエル・セものふ「1926－2002」－ ロシアとソビエトの生理学者および心理生理学者、感情の情報理論の作成者生物学的ニーズの分類を提案。

†イゴール・アシュマリン「1925－2007」－ ロシアとソビエトの生化学者と生理学者と分子生物学者とウイルス学者とMSU名誉教授『1995年』。

お問い合わせ先

①

名前 : ばべるぽっすこぶ

EMAIL : media@alpina.ru

Website: <https://alpinabook.ru/>

②

名前 : るぼふばらしな

EMAIL: centr@arhe.msk.ru

Website : <http://arhe.msk.ru/>

③

名前 : おるがすらぶにく

EMAIL: olgaesvarnik@yandex.ru

Website: <http://www.ipras.ru/>

key-name: +TdD6RR5VY0TY1zhhcQH4jXucko0u0N9zX5CJuNdeo=



公益財団法人

九州先端科学技術研究所

Institute of Systems, Information Technologies and
Nanotechnologies (ISIT)



This page has been published from **esa** 